

2021 年度 CSRレポート

「美と健康」を通じて、より多くの人々の、
より多くの喜びに貢献いたします





トップメッセージ

4

編集方針

5

企業情報

6

岩瀬コスファのサステナビリティ

7

サステナビリティへのアプローチ

7

我が社の CSR 方針

8

マテリアリティ分析

9

コーポレートガバナンス体制（組織図）

11

我が社の取り組み

12

国連グローバル・コンパクト

12

国連「持続可能な開発目標（SDGs）」

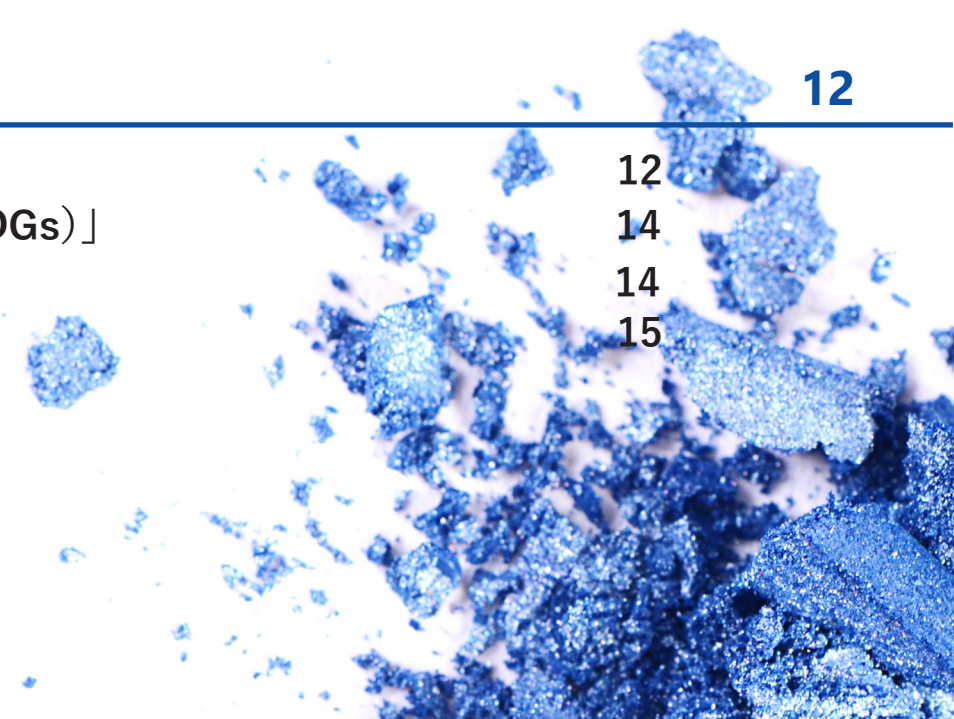
14

SMETA 監査

14

地域社会への参画

15





課題1: 企業理念

日本経済団体連合会「企業行動憲章」	17
コンプライアンス規範	18
リスクマネジメント	20
指標・コミットメント	22

課題2: 労働・人権

奴隷及び人身取引に関する声明	23
労働安全衛生	23
働き方改革	24
キャリアマネジメント・教育訓練	27
ダイバーシティ・差別行為・ハラスメント	30
ジェンダー平等	31

課題3: 環境

環境方針	33
環境活動データ	34
認証・プロジェクト	35
環境保護活動	36

課題4: 持続可能なサプライチェーン

持続可能な調達方針	37
サプライヤー倫理要綱	39
持続可能な調達に関する取り組み	39
調達データ・コミットメント	40

付属書

CSR 運用管理表	41
-----------	----

トップメッセージ



岩瀬コスファ株式会社
代表取締役社長 岩瀬 由典

岩瀬コスファ株式会社は「和と進歩」を社是に、1931年に創業者の岩瀬健次郎が創立いたしました。伝統的な近江商人の経営哲学「三方よし」の精神を大切に、「美と健康を通じて、より多くの人々の、より多くの喜びに貢献いたします」を企業理念として掲げ、社業の発展を通して社会貢献を目指してまいりました。

21世紀に入り、多様な価値観とともに、社会における企業のあり方が問われるようになりました。また2019年12月初旬から世界的に大流行している新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、私たちの生活に大きな影響を及ぼし、企業の働き方改革に拍車をかけています。

当社は、これまでも、働きやすい労働環境への取り組み、ISO14001による環境保全活動、ISO9001による顧客満足度の向上及び企業統治の強化、業界団体や研究機関並びに地域活動への参加、取り扱う商品の正確な情報提供などをそれぞれの分野において実施してまいりました。

今後、企業が担うべきサステナビリティをさらに追求するために、ISO26000(社会的責任に関する手引き)に準拠し社会的責任の中核主題として次の7つの項目について企業の社会的責任を明確にし、推進していきます。

- ① 企業統治(コーポレート・ガバナンス)
- ② 人権
- ③ 労働慣行
- ④ 環境
- ⑤ 公正な事業活動(コンプライアンス)
- ⑥ 消費者の権利
- ⑦ 地域社会への参画

そのために、社内はもとより社外に対しても経営方針に社会的責任を明らかにし公表します。また、その確実な実施のためにCSR推進室を設置し、一丸となって関係者の方々とともにCSR活動に取り組みます。

編集方針

このレポートは、岩瀬コスファが発行するCSRレポート第2版です。ステークホルダーのみなさまとのコミュニケーションを図り、継続的に説明責任を果たしてまいります。



対象期間

対象期間は2019年度(2019年1月～2019年12月)及び2020年度(2020年1月～2020年12月)を中心としております。

参考ガイドライン

活動報告に関しては、GRIサステナビリティ・レポーティング・スタンダード、EcoVadis、ISO26000、グローバル・コンパクトの10原則などを参考にしております。

対象範囲

本CSRレポート中の「岩瀬コスファ」は、岩瀬コスファグループ8社及び関連会社1社を示しております。範囲を特定する必要がある場合は、個別に対象組織名で記載しております。

発行時期

発行日	2021年4月30日
次回発行予定	2022年4月

加盟団体

一般社団法人 日本経済団体連合会
 国連グローバル・コンパクト
 非営利組織「持続可能なパーム油のための円卓会議」(RSPO)
 一般社団法人 CDP Worldwide-Japan

サステナビリティ情報 プラットフォーム

SEDEX (Supplier Ethical Data Exchange)
 :労働者の権利、健康と安全、環境、及び企業倫理に関するパフォーマンスを管理するためにイギリスの会社Sedexを利用しております。
ECOVADIS: グローバルサプライチェーンの持続可能性評価を提供する共同プラットフォームに参画しております。

企業情報

会社概要(2021年4月30日現在)

商号

岩瀬コスファ株式会社
英文名IWASE COSFA CO., LTD.

創業年月日

1931年(昭和6年)9月15日

設立年月日

1948年(昭和23年)7月29日

本社所在地

〒541-0045 大阪市中央区道修町1丁目7番11号
Tel. 06-6231-3456(代)
Fax. 06-6231-5767

代表者

代表取締役会長 岩瀬 健治
代表取締役社長 岩瀬 由典

資本金

1億円

従業員数

195名(派遣労働者を含む)
連結従業員数 304名(東洋ビューティ株式会社を除く)

売上高 270.86百万円

当期純利益 721百万円



主な事業内容



化粧品原材料
医薬品原料
ハウスホールド用品原料



機能性食品
栄養補助食品原料
食品添加物



前臨床試験の受託

連結決算対象関連会社 海外現地法人

コスファ上海

コスファ広州

岩瀬コスファ韓国

岩瀬コスファタイランド

岩瀬コスファヨーロッパ

岩瀬コスファベトナム

岩瀬コスファUSA

海外拠点

インドネシア駐在員事務所

国内関連会社



Dainihonkasei
大日本化成株式会社

その他の関連会社

 **TOYO BEAUTY CO., LTD.**



岩瀬コスファのサステナビリティ

サステナビリティへのアプローチ

岩瀬コスファは「美と健康を通じて、より多くの人々の、より多くの喜びに貢献いたします」を企業理念として掲げ、社業の発展を通して社会貢献を目指してきました。中期経営計画では「美と健康の分野において、新たな価値を提供するクリエイターとして、世界の人々の豊かな暮らしに貢献し続ける企業でありたい」を中長期ビジョンとして、地域社会とともに発展し、事業を通して社会的課題の解決を図って参ります。

また、企業の社会的責任にサプライチェーン一体となって取り組み、品質の高いサービスを提供することで、「売り手よし、買い手よし、世間よし」を示す「三方よし」の精神を体現し、人々の美しさ、健やかさを創造する経営を推進します。



岩瀬コスファはステークホルダー（顧客、従業員、サプライヤー、ビジネスパートナー、地域社会、その他の組織）の利害関係者および地球環境に及ぼす影響を考慮して事業活動を営んでおります。

当社は、経済的・社会的価値を生み出し、持続可能な社会の発展に貢献することにより、企業価値の向上に努めます。

人々の美しさ、健やかさを創造する経営を推進します。

我が社のCSR方針

私たちは、「美と健康を通じて、より多くの人々の、より多くの喜びに貢献いたします」の企業理念に基づく社会貢献活動を通じて、サステナブルな社会の実現を目指しています。また、人権を尊重し、事業活動の透明性、ステークホルダーとの対話と協働を通じて、社会の課題と期待に応える活動を展開し、人々の美しさ、健やかさを創造する経営を推進します。



1. お客様へ

- ・法令の遵守をしっかりと行います。
- ・顧客情報や個人情報適切に取り扱います。
- ・正確な商品情報を提供します。
- ・顧客や取引先の要望に応え得る知識と技術の向上を目指します。

2. パートナー企業様へ

- ・公正、公平、誠実さを持って、適切な取引を行います。
- ・労働基準法、国際労働機関(ILO)並びに国際連合による国際基準や条約を遵守します。あらゆる形態の強制労働及び有害で危険な児童労働を行わない事はもちろん、取引先等がそれらを行なう事も認めません。また、そのような労働により生産された原材料もしくはそれらを使用した製品を購入することはありません。

3. 従業員のみなさんへ

- ・労働安全に配慮し、働きがいのある快適な職場環境づくりを行います。
- ・コミュニケーションを重視し、透明性の高い組織づくりを目指します。
- ・女性の登用を推進します。

4. 環境への配慮

- ・環境保全活動を推進します。
- ・環境負荷の少ない製品の普及に努めます。

5. 社会貢献/地域貢献活動

- ・地域の一員として、地域や社会との関わりを大切にしていきます。
- ・地域貢献活動、社会貢献活動に積極的に参加していきます。

6. 報告

- ・上記の内容に準じ、社内外に取り組みを認知してもらうために、1年に1回CSR報告書を発行します。



SDGsとの関わり



マテリアリティ分析

社会価値創造の枠組みとして、2021年の岩瀬コスファグループのマテリアリティ(重要課題)を以下のように定めました。

岩瀬コスファグループのマテリアリティ分析のプロセス

① 社会課題の確認

重点課題を特定するにあたって、検討すべき社会課題の抽出を行いました。グループのCSR方針だけでなく、GRIスタンダード、ISO26000、CSR評価機関の調査項目も加味した上で、検討すべき30項目の社会課題を抽出しました。



② 自社の重要な取り組みについてヒアリング

重要な取り組みについて役員及びステークホルダー(顧客、サプライヤー、従業員、地域コミュニティ、NPO/NGO等)へのヒアリングやフリーディスカッションを実施しました。

③ マテリアリティ案の作成

各ステークホルダーからの期待をもとに、30項目の社会課題をステークホルダーにとっての重要度と当社事業にとっての重要度の2軸で1から5までの評価を行いました。そして、それぞれの重要性を統合し、全体の重要性を評価した上で、グループ全体での重点課題(最低スコア7以上)を14個作成しました。

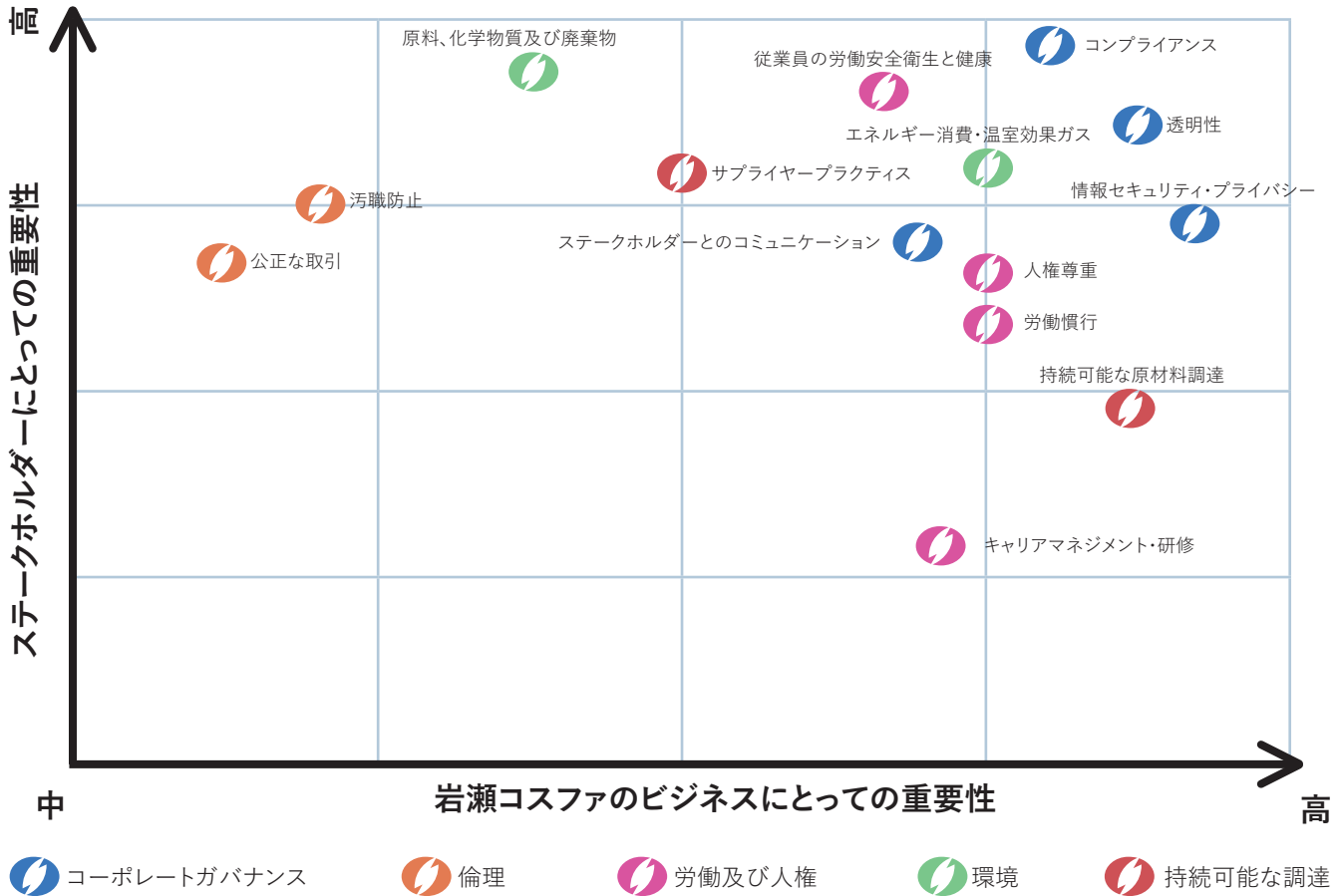


④ マテリアリティの承認

マテリアリティリストを取締役に報告し、承認を得ました。



岩瀬コスファグループのマテリアリティマップ



マテリアリティ項目及びCSR課題

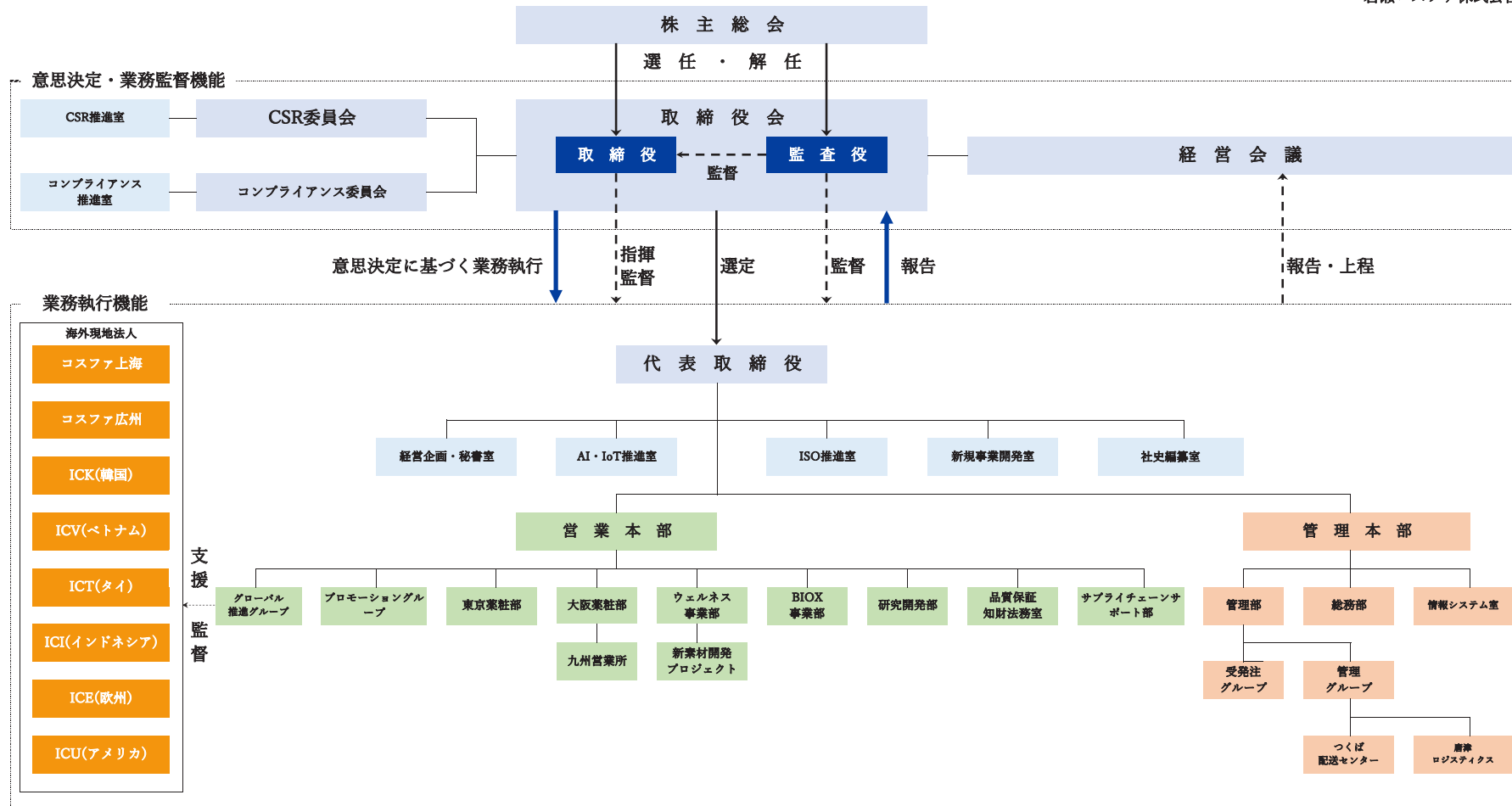
マテリアリティ項目	CSR重要課題
コーポレートガバナンス	コンプライアンス ステークホルダーとのコミュニケーション 透明性 情報セキュリティ・プライバシー
倫理	汚職防止 公正な取引
労働及び人権	従業員の労働安全衛生と健康 労働慣行 キャリアマネジメント・研修 人権尊重
環境	エネルギー消費・温室効果ガス 原料、化学物質及び廃棄物
持続可能な調達	サプライヤープラクティス 持続可能な原材料調達



コーポレートガバナンス体制（組織図）

【コーポレートガバナンス体制】

岩瀬コスファ株式会社



2021年1月1日現在

我が社の取り組み

国連グローバル・コンパクト

国連グローバル・コンパクトとは、1999年1月、スイスのダボスで開かれた世界経済フォーラムの席上、コフィー・アナン元国連事務総長が提唱した、企業の自主行動原則です。

参加する企業には、「人権、労働、環境、腐敗防止」の4分野で、世界的に確立された10原則を支持し、実践することを求めている。2019年11月現在、世界各地から13,900を超える企業、労働組合、市民社会組織が参加しています。

岩瀬コスファは2019年11月に署名、支持を宣言し、グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンの加盟企業として参画しました。グループは、本CSRレポートを通じてCommunication On Progress(COP:署名企業からステークホルダーに向けた年次活動報告)を共有することにより、コミットメントを尊重します。



グローバル・コンパクトの10原則

企業は、

人権



原則1. 国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重すべきである

原則2. 自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである

企業は、

労働



原則3. 結社の自由と団体交渉の実効的な承認を支持すべきである

原則4. あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持すべきである

原則5. 児童労働の実効的な廃止を支持すべきである

原則6. 雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである

企業は、

環境



原則7. 環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持すべきである

原則8. 環境に関するより大きな責任を率先して引き受けるべきである

原則9. 環境に優しい技術の開発と普及を奨励すべきである

腐敗 防止



原則10. 強要や贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである

トップ・メッセージ

一般社団法人グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン
代表理事 有馬 利男 殿

岩瀬コスファ株式会社は「美と健康を通じて、より多くの人々の、より多くの喜びに貢献いたします」を企業理念として掲げ、社業の発展を通して社会貢献を目指してきました。当社の中期経営計画では「美と健康の分野において、新たな価値を提供するクリエイターとして、世界の人々の豊かな暮らしに貢献し続ける企業でありたい」をビジョンとして掲げ、地域社会とともに発展し、事業を通して社会的課題の解決を図っております。

企業活動においては、国連グローバル・コンパクトの定める4分野（人権、労働、環境、腐敗防止）10原則を実践し、従業員のダイバーシティ確保、女性の管理職登用、労働環境の改善に努めております。また、企業の社会的責任をサプライチェーン一体となって取り組み、品質の高いサービスを提供することで、「売り手よし、買い手よし、世間よし」を示す「三方よし」の精神を体現し、人々の美しさ、健やかさを創造する経営を推進します。



2021年1月1日

岩瀬コスファ株式会社
代表取締役社長 岩瀬 由典



国連「持続可能な開発目標（SDGs）」



岩瀬コスファは、CSRに対する取り組みを推進するため、重点的に取り組むテーマと活動目標を定めました。また、グループは持続可能な開発目標(SDGs)を支持しており、重点的に取り組むテーマとSDGsを対応させています。

国連「持続可能な開発目標（SDGs）」は、2030年に向けて、貧困に終止符を打ち、地球を保護し、すべての人が平和と豊かさを享受できるようにすることを目指すために、17の目標のもと、世界的な優先課題およびあるべき姿を明らかにしています。

グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンの加盟企業として、SDGsへの貢献を常に意識して事業を推進していけるよう、岩瀬グループ全体へのSDGsの浸透を図るとともに、事業戦略などへの反映についても議論を重ねています。2020年には、より一層のSDGsへの理解の浸透を目的として、すべての従業員対しSDGsバッジを配布し、着用を促しました。

SMETA 監査

2020年3月27日 SMETA監査(Sedex Members Ethical Trade Audit)を実施しました。ビューローベリタスジャパン株式会社によってSMETA 4 Pillar Audit (SMETAの4領域監査)を行い、結果はSEDEX(Supplier Ethical Data Exchange)の共同プラットフォームで希望する全世界の企業に共有されています。



地域社会への参画

大阪大学未来基金

大阪大学未来基金の社会ロボット研究基金に協力しております。

九州大学との共同研究

ウェルネス事業の一環として、機能性食品及び化粧品用途を目的とした、天然有用資源由来の高機能アンチエイジング素材に関する研究開発を共同で行っております。

社歌コンテストへの参加

日本経済新聞社の主催する「第二回NIKKEI全国社歌コンテスト」へ参加し、第5位に入賞いたしました。

ブルークローバー・キャンペーン

前立腺がんの正しい知識や、「早期発見・適切治療」の大切さを伝えていく「ブルークローバー・キャンペーン」の活動に「BLUE CLOVER JOYX OPEN」への協賛を通じて協力しております。



SDGsとの関わり





みちのく未来基金

東日本大震災において被災し、両親またはどちらかの親を亡くされた子どもたちの進学を支援するための「みちのく未来基金」に賛同し、支援企業として継続的な援助をしております。

皆で手をつなごうプロジェクト

COVID-19が世界中で猛威を振るう中、教育機関、自治体、介護施設、医療現場などに、アルコール配合の「ハンドクリーンジェルローション」を提供するプロジェクトを発足いたしました。

iPS細胞研究基金

「美と健康」を創業以来の理念とし、人々の美しさ、健やかさを創造する経営を推進する当社はiPS細胞の医療応用研究(京都大学iPS細胞研究所CiRA「サイラ」)に賛同し、協力しております。

佐賀県工業技術センター、九州大学との共同研究

通常廃棄されているイチゴ葉を有効利用し、「イチゴ葉の化粧品・美容食品サステナブル原料化に関する研究」を共同で進めております。

熱中症対策「塩ゼリー」の開発、及び寄贈

熱中症の症状がコロナウイルス感染症と似ていることから、医療機関の逼迫の改善や、医療従事者の熱中症予防にも貢献する熱中症対策「塩ゼリー」を共同開発し、熱中症になりやすい環境で働く建設業者や商工会議所、介護施設や体育大学などへ寄贈しました。

課題1: 企業理念

日本経済団体連合会「企業行動憲章」



岩瀬コスファは、経団連の企業行動憲章に賛同しています。この憲章は企業が高度な倫理観と責任感を持って行動し、社会から信頼と共感を得るために策定されたものです。この規程により日本企業はグローバルな社会的または環境的な責任を果たしています。

この規程により日本企業はグローバルな社会的または環境的な責任を果たしています。

この憲章は、人権の尊重、法律や規制の順守、企業の倫理的行動、持続可能な開発への貢献を確保することを目的としています。

コンプライアンス規範

岩瀬コスファのコンプライアンス規範は、当社のすべての役員、従業員(契約社員、嘱託社員、出向社員、派遣社員及びその他当社業務従業員を含む)に適用されます。当社が社会からの信頼を得ることを目的としています。

岩瀬コスファのすべての役員、従業員は、岩瀬コスファのコンプライアンスについて体系的な研修を受け、コンプライアンス・ハンドブックを受け取ります。このハンドブックには、企業理念とコンプライアンス規範および3つの内部通報窓口(通常ライン、女性専用ライン、弁護士ライン)が記載されており、すべての役員、従業員に報告・相談する手段が提供されています。

環境問題になりがちな印刷負担を防ぐために、本ハンドブックを従業員にオンラインでアクセスできるようにしました。

<https://www.cosfa.co.jp/company/pdf/compliance-charter-2019-ja.pdf>



コンプライアンス規範は、第4条において次のようなトピックスを扱っています。

贈答・接待(第6号)

公務員やこれに準ずる者に対し、その職務に関し金銭、贈物、接待その他の経済的利益を供与しない。

エージェント、アドバイザー、コンサルタント等に対する支払が公務員やこれに準ずる者への違法な働きかけのために使用されられると思われる場合、そのような支払いを行わない。

取引先等の役職員との間で、社会通念を超える金銭、贈物、接待その他の経済的利益の授受をしない。金額的基準としては最高でも1000米ドルまでとする。



情報の取扱い(第7号)

会社の秘密情報及び顧客情報は厳重に管理し、これを第三者に漏洩しない。又、会社の業務目的以外のために、これら情報を使用しない。

個人情報の保護を徹底し、漏洩や目的外使用を行わない。第三者から開示を受けた秘密情報も会社情報と同様に扱う。



報告及び処分(第15号)

役員および従業員がこの規程に違反する行為若しくはその疑義を発見したときは、コンプライアンス委員会事務局(コンプライアンス推進室)若しくは、社内・社外通報窓口へ報告・相談しなければならない。

役員および従業員は、違反の有無に関する事実調査に協力しなければならない。

目的

岩瀬コスファは、誠実で敬意のある行動を促進するため、従業員にコンプライアンス規範の遵守を求めます。

目標

コンプライアンス規範を変更する際に、全従業員がコンプライアンス規範を理解し賛同したことを確認します。

リスクマネジメント

岩瀬コスファは、顧客満足度向上の一環として品質管理を継続的に実施しています。当社はISO9001認証を取得し、当社の提供するサービス品質の向上に努めてきました。当社は取り組む課題を計画・立案し、PDCAサイクルを運用しながら、事業活動を通じた顧客満足度の向上に努めています。

当社は、「円滑な事業運営」に重大な影響を及ぼす「リスク」に対処するため、社会、取引先、従業員の安全と健康及び利益を保持・増進し、経営資源を適切に保全します。また、サービス・情報の提供を通じて社会に貢献し、持続的な発展に向け努力します。

すべての従業員は、リスク発生の未然防止と発生した場合の損失の最小化ならびに対外的な影響を考慮して速やかな事業活動の正常化を図り、責任ある行動をとります。



リスクマネジメント行動指針

1. 当社のISO9001及びISO14001を準用し、重大なリスクを特定し、リスクマネジメントシステムを社内に構築し維持する（JIS.Q2001に準じる）。
2. リスク被害の未然防止あるいは最小化に努める。
3. すべての従業員は部署ごとにリスクマネジメント目標を設定し、法令・規格を遵守し、リスクマネジメントの持続的な維持・改善に努力する。

危機管理

岩瀬コスファのトップマネジメントは、危機管理方針を定め、働く人々の生命若しくは身体又は当社の財産、名誉若しくは業務の継続に重大な被害を及ぼす危機に効果的に対応することを宣言いたしました。危機管理方針は、当社で働くすべての人に周知いたしました。



危機管理方針

1. 危機の未然防止、発生した危機への対応、コミュニケーションを含む危機管理体制を構築する。
2. 危機の発生に際して、社会的責任に反するような危機への対応を行ってはならない。
3. 危機の発生に際して、従業員の生命及び身体の安全確保を最優先とし、迅速に実効性のある対応を行う。
4. 危機の発生に際して、事業継続又は速やかな再開に努める。
5. 従業員の危機管理意識を向上させるため、教育・訓練を実施する。
6. 危機管理の活動実績は毎年評価し、継続的にその有効性を改善する。



岩瀬コスファは、緊急時に顧客、取引先、従業員の安全及び当社の事業継続に影響を及ぼす可能性のあるリスク要因を定めました。



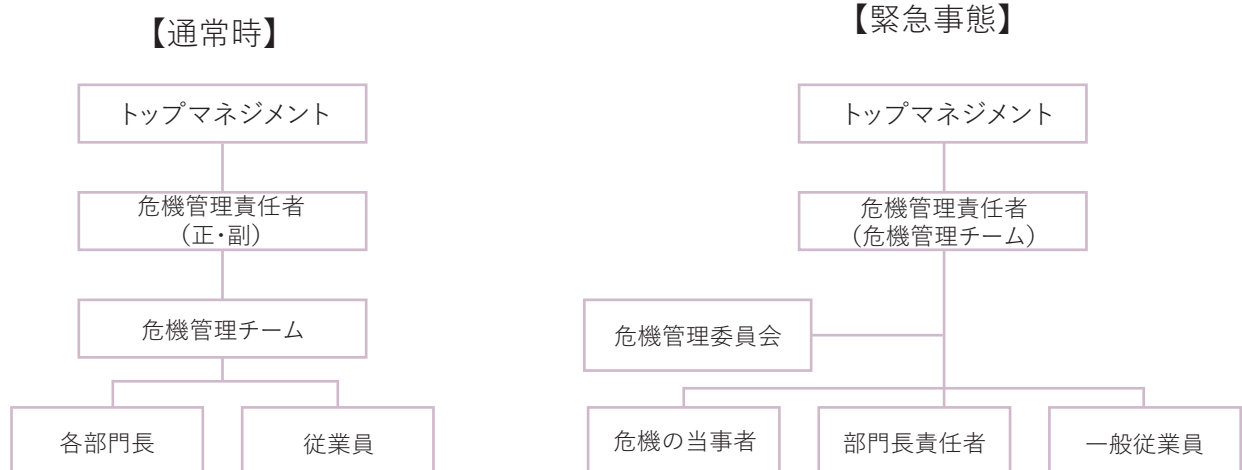
- 重要な取引先の倒産
- コンプライアンス違反
(不当な利益供与、インサイダー取引など)
- 役員及び従業員等による重大な犯罪
- 個人情報の漏えい
- 営業情報の流出
- 重篤な情報システムの障害
- 事故による役員及び従業員等の負傷・死亡



- 労働災害
- 環境汚染
- 地震、風水害などの自然災害による損失
- 火災の発生
- 経営不安などの風評
- 役員及び従業員等の被災、誘拐等
- 事故、盗難による被害
- 第三者による破壊行為、事業の妨害

当社は、緊急事態が発生した場合には、顧客・取引先・従業員などの人命保護を最優先として行動し、事業の早期復旧に努めます。社会的通念に照らし、社内外に対して迅速かつ的確に情報開示します。また、リスクへの対応策を関連部門に周知し、リスクマネジメント方針にすべての従業員がアクセスできるようになっています。

危機管理組織図



指標・コミットメント

テーブル1.1 企業倫理及び指標

対象: 岩瀬コスファグループ

指標	2018年度	2019年度	2020年度
コンプライアンス違反数（コンプライアンス推進規程第14条による不祥事：レベル1とレベル2）	1	0	0
規制罰則	0	0	0
情報セキュリティ侵害数	0	0	0

テーブル1.2 . 情報セキュリティに関する教育

対象: 岩瀬コスファ株式会社

指標	2019年度	2020年度
研修項目	情報セキュリティの基礎	今日から実行! 事例で学ぶ情報セキュリティ 実務に生かす! 情報セキュリティの継続学習 ケースで学ぶ! 情報セキュリティの最新脅威 2020-2021年版
実施回数	1回	1回
研修時間/回	1時間	2時間
参加人数	172人	187人

目的

岩瀬コスファは、不正行為を防止し、顧客との取引における重大な情報漏洩を防止します。

実績

2020年より、岩瀬コスファは新入社員に対して汚職防止および贈収賄防止に関する研修を実施しています。
2021年より、汚職と贈収賄の意識に関する定期的な調査を実施しています。

目標

今後数年間にわたり、倫理方針違反、規制罰則、決済および情報セキュリティ違反をゼロに保つために最善を尽くします。
汚職と贈収賄の意識に関する定期的な調査を年に一度実施します。



SDGsとの関わり



課題2: 労働・人権

奴隷及び人身取引に関する声明

2015年3月、イギリス政府はModern Slavery Act 2015（英国 現代奴隷法）を制定し、イギリスにおいてビジネス活動を行う営利団体・企業のうち、年間の売上高が3600万ポンド（日本円でおおよそ60億円）を超えるものに対して、自社の事業活動とサプライチェーンの取引で起こりうる現代奴隷と人身取引についての年次ステートメント（Slavery and Human Trafficking Statement）を公開する義務を課しました。岩瀬コスファは、2019年に加盟しました。2021年1月13日に二度目の声明を公表し、現代奴隷法を遵守していきます。

<https://www.cosfa.co.jp/company/pdf/SlaveryStatementFY2020-jp.pdf>



労働安全衛生

労働者が安全な職場環境で安心して働くことができるように配慮しています。



原材料の保管

岩瀬コスファの大きな安全リスクのひとつは、原材料が保管されている倉庫にあります。倉庫は、原材料の化学的特性に応じて在庫の保管場所を区分しています。これにより火災リスクと製品の劣化リスクを低減しています。



安全データシート(SDS)

SDSは、化学物質の取り扱い、保管、輸送に関する物理的制約、健康および環境への被害、保護対策、安全上の注意事項を詳細に記した国際基準に沿った情報文書です。岩瀬コスファは、取引先に対して購入するすべての製品のSDSを準備するよう要請し、従業員がこれらの対応と安全対策を徹底して遵守しているか確認するようにしています。

テーブル2. 労働災害

対象: 岩瀬コスファグループ

指標	2018年	2019年	2020年
労働災害数*	0	0	0
労働災害度数率**	0	0	0
労働災害強度率***	0	0	0

*労働災害: 労働者の業務上での負傷・疾病・障害・死亡

**直接雇用の従業員の労働災害度数率=労働災害による死傷者数÷延べ労働時間数×1,000,000

***直接雇用の従業員の労働災害強度率=延べ労働損失日数÷延べ労働時間数×1,000

目的

岩瀬コスファは、従業員の健康維持のために安全で快適な職場環境を提供します。

目標

労働災害の数をゼロに保つために最善を尽くします。



SDGsとの関わり



働き方改革

岩瀬コスファは、継続して職場環境の改善に取り組んでおります。



SDGsとの関わり



岩瀬コスファ(日本)の「ノー残業デー」

岩瀬コスファは2017年に「ノー残業デー」の実施を決定しました。「ノー残業デー」は毎週水曜日に設定されており、定時(17:30)に退社します。部門長はすべての従業員が退社したことを確認する責任があります。2019年には「ノー残業デー」の設定が追加され、従業員は月に2日、任意の日を選んで定時に退社するようになりました。従業員のメンタルヘルスを守るために、これからもこの方針を保持していきます。



従業員代表と取締役の懇談会実施

従業員代表は、労働基準法に基づく公正な手続きのもと、事業場毎の全従業員の中から、従業員の過半数の支持を得た当該事業場の従業員が代表として選出されます。

岩瀬コスファの取締役と従業員代表は、従業員の声を反映する年次会議を開催しています。この会議の前に、従業員はより良い職場環境のための提案をするよう求められます。その後、会社は会議で挙げられた提案について議論し、その実現可能性を検討し取り組みます。2020年は、COVID-19で延期になりましたが、緊急事態宣言があげた2021年4月に実施しました。

岩瀬コスファは「ノー残業デー」と従業員代表と取締役の懇談会の実施によって従業員との健全な労使関係の構築を推進しています。

フリーアドレス

働きやすい職場環境をつくり出すために、岩瀬コスファは、主として営業部門に従事する従業員を対象に「フリーアドレス」を導入しています。対象の従業員は毎日、自由に席を選ぶことができ、コミュニケーションの取りやすい環境を創出しております。



ストレスチェック

当社は、従業員の健康管理を目的として、労働安全衛生法に基づき、年1回のストレスチェックを実施しております。実施結果を自身で確認することで、セルフケア（一人ひとりが行う自身の健康管理）のさらなる充実を図り、職場全体のストレス傾向を把握することで働きやすい職場環境の形成を推進します。

また、月1回産業医が来社しており、従業員は自由に健康相談を利用することが可能です。

社内サークル活動

サークル活動管理規程を制定し、従業員の親睦を図る社内サークルの活動を促進しております。
現在、有志による6種類のサークルが発足しています。

- ・東京ゴルフサークル
- ・大阪フットサルサークル
- ・大阪ゴルフサークル
- ・東京フットサルスクール
- ・たぬき会
(若手中心のゴルフスキル向上のサークル)
- ・東京テニスサークル

**岩瀬コスファは、継続して
職場環境の改善に取り組
んでおります。**

社内報：総務部通信

定期的に総務部より社内報を発行し、福利厚生や安全衛生に関する情報の社内周知、および、新入社員や、サークル活動を紹介するなど、社内コミュニケーションの活性化を図っています。





SDGsとの関わり

テーブル3. 労働時間・有給休暇取得率・欠勤率

	指標	2018年度	2019年度	2020年度
月の平均 時間外労働	IWASE COSFA CORPORATION (JAPAN)	5.71 時間	5.31 時間	3.43 時間
	COSFA INTERNATIONAL TRADING (SHANGHAI) CO., LTD	5 時間	5 時間	5 時間
	COSFA INTERNATIONAL TRADING (GUANGZHOU) CO., LTD	5 時間	5 時間	3 時間
	IWASE COSFA EUROPE S.A.S.	0 時間	0 時間	0 時間
	IWASE COSFA VIETNAM CO., LTD	3 時間	3 時間	3 時間
	IWASE COSFA KOREA CO., LTD	16 時間	16 時間	16 時間
	IWASE COSFA USA INC.	7.96 時間	23.42 時間	1.04 時間
	IWASE COSFA (THAILAND) CO., LTD	No data	0 時間	0 時間
	DAINIHON KASEI CO., LTD	No data	No data	0 時間
	岩瀬コスファ合計(平均)	5.71時間	5.1時間	3.44時間
年次有給 休暇取得率	IWASE COSFA CORPORATION (JAPAN)	54.3%	55.5%	57.5%
	COSFA INTERNATIONAL TRADING (SHANGHAI) CO., LTD	80.0%	80.0%	100.0%
	COSFA INTERNATIONAL TRADING (GUANGZHOU) CO., LTD	95.0%	97.0%	100.0%
	IWASE COSFA EUROPE S.A.S.	73.1%	88.2%	76.0%
	IWASE COSFA VIETNAM CO., LTD	90.0%	90.0%	90.0%
	IWASE COSFA KOREA CO., LTD	70.0%	82.0%	95.0%
	IWASE COSFA USA INC.	0.0%	36.0%	44.0%
	IWASE COSFA (THAILAND) CO., LTD	No data	100.0%	100.0%
	DAINIHON KASEI CO., LTD	No data	No data	100.0%
欠勤率	IWASE COSFA CORPORATION (JAPAN)	0.25%	0.08%	0.07%
	COSFA INTERNATIONAL TRADING (SHANGHAI) CO., LTD	No data	No data	No data
	COSFA INTERNATIONAL TRADING (GUANGZHOU) CO., LTD	0.00%	0.00%	0.00%
	IWASE COSFA EUROPE S.A.S.	0.00%	0.00%	0.00%
	IWASE COSFA VIETNAM CO., LTD	0.00%	0.00%	0.00%
	IWASE COSFA KOREA CO., LTD	0.00%	0.00%	0.00%
	IWASE COSFA USA INC.	0.00%	0.00%	0.00%
	IWASE COSFA (THAILAND) CO., LTD	No data	0.00%	0.00%
	DAINIHON KASEI CO., LTD	No data	No data	0.00%

目的

岩瀬コスファは、従業員の要望を尊重し、ワーク・ライフ・バランスに配慮した働きやすい職場環境を構築します。

実績

日本で2020年までに年次有給休暇の取得率を前年比で高めました。

目標

- 残業時間/人/月をグループ全体で10時間未満に保ちます。
- 欠勤率を1%未満に保ちます。
- 2022年までに、従業員満足度調査の実施範囲を全グループに拡大します。

キャリアマネジメント・教育訓練

岩瀬コスファは、個人の成長が会社発展をもたらすとの考えに基づき、従業員一人一人に育成の場を提供しています。

外部研修の活用

岩瀬コスファは、従業員にさらなる成長機会を提供するため、外部研修を導入しております。従業員はスキルアップのために積極的に研修に参加することが出来、ビジネスマナー、ポジティブ・シンキング、キャリア・マネジメント、経理、女性リーダーシップ等さまざまな研修メニューが用意されています。加えて、岩瀬コスファは特定のテーマについて社内研修を実施しています。新入社員研修では、企業の社会的責任の実践に関する意識を強化するために1時間のCSR社内教育を実施しています。

2020年には、全グループの従業員にCSRに関する研修を実施しました。この研修では、社会的責任の歴史と現状をおさえた上で、当社がCSRを果たす理由について理解していただきました。従業員のCSR認識の向上に繋がるよう、企業としての倫理、環境及び調達の課題を明らかにして、当社がどのように対応しているのかを発表いたしました。

また、調達に関わる部門の社員を対象に、当社のCSRへの取り組みやリスク、ステークホルダーからの要望などの教育を行いました。(2021年3月12日 対象者42名 参加率100%)



ジョブコーチ支援サービス

厚生労働省の定める「職場適応援助者(ジョブコーチ)支援」事業を活用し、すべての社員が働きやすい職場環境づくりに努めています。就労に支援が必要な社員に対して、「東京都障害者職業センター」の協力を受け、「ジョブコーチ支援制度」にて、2020年の約半年間に亘り研修をいたしました。今後も同様の案件で実施していく予定です。

本人に対する職務の遂行や職場内のコミュニケーション等に関する支援だけでなく、事業主に対しても特性に配慮した雇用管理等、専門的な助言を受けることで、会社全体での理解を深め、雇用の安定を図っています。



テーブル4.1. 従業員訓練

	指標	2018年度	2019年度	2020年度
訓練時間	IWASE COSFA CORPORATION (JAPAN)	318.5 時間	558.2時間	2448.8時間
	COSFA INTERNATIONAL TRADING (SHANGHAI) CO., LTD	300 時間	300 時間	300 時間
	COSFA INTERNATIONAL TRADING (GUANGZHOU) CO., LTD	20 時間	20 時間	384 時間
	IWASE COSFA EUROPE S.A.S.	No data	No data	649 時間
	IWASE COSFA VIETNAM CO., LTD	600 時間	720 時間	830 時間
	IWASE COSFA KOREA CO., LTD	180 時間	180 時間	218 時間
	IWASE COSFA USA INC.	0 時間	0 時間	24 時間
	IWASE COSFA (THAILAND) CO., LTD	No data	No data	13 時間
	DAINIHON KASEI CO., LTD	No data	No data	10 時間
参加者人数	IWASE COSFA CORPORATION (JAPAN)	94 人	172人	187人
	COSFA INTERNATIONAL TRADING (SHANGHAI) CO., LTD	24 人	24 人	26 人
	COSFA INTERNATIONAL TRADING (GUANGZHOU) CO., LTD	20 人	20 人	24 人
	IWASE COSFA EUROPE S.A.S.	No data	No data	14 人
	IWASE COSFA VIETNAM CO., LTD	5 人	7 人	7 人
	IWASE COSFA KOREA CO., LTD	3 人	4 人	3 人
	IWASE COSFA USA INC.	0 人	0 人	3 人
	IWASE COSFA (THAILAND) CO., LTD	No data	No data	5 人
	DAINIHON KASEI CO., LTD	No data	No data	2 人
一人あたり	IWASE COSFA CORPORATION (JAPAN)	2 時間	3 時間	12.5 時間
	COSFA INTERNATIONAL TRADING (SHANGHAI) CO., LTD	13 時間	12 時間	11.5時間
	COSFA INTERNATIONAL TRADING (GUANGZHOU) CO., LTD	1 時間	1 時間	16 時間
	IWASE COSFA EUROPE S.A.S.	No data	No data	38 時間
	IWASE COSFA VIETNAM CO., LTD	36 時間	45 時間	46 時間
	IWASE COSFA KOREA CO., LTD	36 時間	45 時間	73 時間
	IWASE COSFA USA INC.	0 時間	0 時間	8 時間
	IWASE COSFA (THAILAND) CO., LTD	No data	No data	1.3 時間
	DAINIHON KASEI CO., LTD	No data	No data	5 時間

*計算式：年間の総研修時間／各年度末の人員数

目的

岩瀬コスファは、従業員の適性・キャリアを踏まえた成長機会を提供し続けます。

目標

2021年までに一人あたり年間平均6時間の研修時間を達成します。



SDGsとの関わり



岩瀬コスファヨーロッパの子育て方針

岩瀬コスファヨーロッパは従業員のワーク・ライフ・バランスの実現を支援しています。2019年には、男女平等の実現に向けた取り組みとして、企業子育て規範を従業員と共に策定いたしました。フランスでは、2008年に社会問題・労働・家族・連帯省とのパートナーシップのもとに「Corporate Parenthood Observatory」が発足され、500以上の企業や団体に署名されています。

岩瀬コスファヨーロッパの子育てに関する取り組みは下記の通りです。

1. 出産・育児をする従業員への理解を深めること*

- ・ 子どもを持つ従業員の家庭環境に配慮するため、管理職向けの教育訓練を行います。
- ・ 子育てハンドブックをすべての従業員に共有し、従業員としての権利を周知しています。

2. 子育て中の従業員、特に妊婦に向けて配慮された労働環境をつくること*

- 年間を通して

- ・ 午前9時前と午後5時以降の会議開催を禁止しています。
- ・ 会社との協議により就労時間及び就労日の調整を可能にしました。

- 妊娠中

- ・ 労働時間と労働日の選択による妊婦のフレキシブルな労働条件の調整が可能です。(会社役員と協議の上)。
- ・ 妊婦の給与を変更することなく、朝15分、夕方15分の労働時間の短縮が可能です。
- ・ 妊婦及びその配偶者のための7回の産前産後フォローアップ検診(公衆衛生機関による強制検診)のための休暇を許可します。
- ・ 出産休暇開始の4週間前から、勤務時間の100%を在宅勤務にすることが認められています。

- ・ 出産・養子縁組休暇の期間中、金額に関わらず、社会保険から支給される手当を控除した上で、従業員の給与を完全に継続します。

- 出産後

- ・ 出産・養子縁組に伴うギフト券を付与します。
- ・ 法定の出産・養子縁組休暇の期間を4週間延長し、会社が給与を全額支給します(出産・養子縁組休暇の直後に取得しなければならず、病気休暇または出産に関連する病気の期間が終了するまで延長することができます)。この場合、後者の期間は延長期間から差し引かれます。
- ・ 出産休暇については、フランスの社会保障制度から支給される手当を控除した上で、金額にかかわらず給与を全額継続します。
- ・ 父母両方の育児休暇後から最初の15週間は100%在宅勤務が可能です。
- ・ 岩瀬コスファヨーロッパでは、病気の子供の世話のために仕事を休まなければならない社員の給与を、年間3日を上限に全額負担します。

3. 子育て中の従業員の専門的な能力開発を実践するために非差別的待遇の原則を遵守すること*

- ・ 子育て中の従業員の差別的な取り扱いをなくすために、事前に採用基準を客観的に定義し、採用プロセスを標準化しています(語学スキル、専門知識等)。
- ・ 潜在能力の高い個人を採用するために採用基準から年齢という項目を排除します。
- ・ 出産休暇開始前の従業員との個別面談を実施します。
- ・ 出産・養子縁組休暇から復帰した従業員を対象に、特に資格や雇用の面で職業的發展の見通しについて専門家会議を開催します。

その他の取り組みについては、継続的な改善プロセスの一環として岩瀬コスファヨーロッパで実施され、子育てに関して社内でも考察していきます。

* 企業子育て規範を遵守します。



ダイバーシティ・差別行為・ハラスメント

岩瀬コスファのコンプライアンス規範には、当社のセクシャルハラスメントや職場でのいじめから従業員を保護することの重要性が記載されています。

岩瀬コスファの従業員は下記の原則を遵守しなければなりません。

- 第4条 第1号

個人の基本的な人権を尊重し、人権、信条、性別、社会的身分、宗教、国籍、心身の障がいなどに基づく差別をしない。

- 第4条 第2号

セクシャルハラスメント、パワーハラスメントなど個々の人格を無視した、公序良俗に反する行為を行わない。

岩瀬コスファでは、管理職向けのセクハラ・パワハラに関する研修を行っています。さまざまな国籍の従業員（アメリカ、ブラジル、中国、フランス、ギリシャ、韓国、ロシア）が在籍しており、グローバルな事業展開を支える人材の育成ならびに多様な文化に対する相互理解の促進を図っております。

テーブル4.2. 障がい者雇用

対象: 岩瀬コスファ株式会社

指標	2018年度	2019年度	2020年度
障がい者率	0.63%	0.54%	1.03%

テーブル4.3 ハラスメントに関する教育

対象: 岩瀬コスファ株式会社

指標	2019年度	2020年度
研修項目	【東西会議】ハラスメントの防止について	【オンライン研修】女性活躍推進・ハラスメント防止対策
実施回数	1回	1回
研修時間/回	3時間	36分
参加人数	131人	179人

目的

岩瀬コスファは、従業員が互いに尊重しあえるあたたかい職場を追求します。

実績

2020年では、全グループの従業員にCSRに関する研修を実施しました。こちらの研修では、コンプライアンスに関する教育も含まれていました。

目標

岩瀬コスファは、毎年コンプライアンス研修を実施します。



SDGsとの関わり



ジェンダー平等

岩瀬コスファは従業員間の相互理解を深め、成果を上げ続ける組織づくりのためにジェンダー平等を推進しています。当社において、男女間賃金格差がないように努めています。

従業員就業規則

岩瀬コスファは、「従業員就業規則」において女性はその希望に応じ能力を十分に発揮できる働き方を実現するためにさまざまな制度を設けています。

・ 生理休暇

女子従業員は生理日において就業が著しく困難な場合に休暇をとることができます。

・ 育児休業

生後1才未満の子女を養育する従業員は育児のために一定期間休業することができ、所定外労働時間の制限を申請できます。

また、小学校就学の始期に達するまでの子を養育する従業員は、法定労働時間を超える勤務の制限ならびに勤務時間の短縮及び深夜労働の免除を請求することができます。

・ 育児時間(時短勤務)

生後1才未満の乳児を育てる従業員は申請により休憩時間の外、1日2回、各々30分の育児時間を取得することができます。

・ 子の看護休暇

小学校就学の始期に達するまでの子を養育する従業員は、予防接種や健康診断を受けさせるために、申し出により一定の日数の看護休暇を取得することができます。

・ 介護休暇

要介護状態にある家族の介護を行う必要のある従業員は、家族介護のための休業、勤務時間の短縮、時間外勤務の制限及び深夜労働の免除などを申請することができます。



制服の着用自由化

岩瀬コスファは女性従業員の要望に応じて、2019年に女性の制服を義務化しないことを決定し、女性従業員はドレスコードを踏まえたうえで自分らしい衣服を着用できるようになりました。これは、仕事の前後に着替える時間を省き、より仕事に集中できるよう配慮しております。

テーブル5.1 ジェンダー平等: 岩瀬コスファグループの従業員数*

指標	2019年度			2020年度			2021年度		
	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性
総数	247 (100%)	120 (49%)	127 (51%)	280 (100%)	127 (45%)	153 (55%)	304 (100%)	136 (45%)	168 (55%)
IWASE COSFA CORPORATION (JAPAN)**	159 (64%)	79 (49.7%)	80 (50.3%)	184 (66%)	86 (47%)	98 (53%)	195 (64%)	89 (46%)	106 (54%)
COSFA INTERNATIONAL TRADING (SHANGHAI) CO., LTD	25 (10%)	12 (48%)	13 (52%)	26 (9%)	12 (46%)	14 (54%)	23 (8%)	9 (39%)	14 (61%)
COSFA INTERNATIONAL TRADING (GUANGZHOU) CO., LTD	23 (9%)	10 (43%)	13 (57%)	24 (9%)	11 (46%)	13 (54%)	24 (8%)	11 (46%)	13 (54%)
IWASE COSFA EUROPE S.A.S.	9 (4%)	6 (66.7%)	3 (33.3%)	11 (4%)	4 (34%)	7 (64%)	17 (6%)	6 (35%)	11 (65%)
IWASE COSFA VIETNAM CO., LTD	15 (6%)	5 (33.3%)	10 (66.7%)	17 (6%)	6 (35%)	11 (65%)	18 (6%)	6 (33%)	12 (67%)
IWASE COSFA KOREA CO., LTD	5 (2%)	3 (60%)	2 (40%)	4 (1%)	2 (50%)	2 (50%)	3 (1%)	2 (67%)	1 (33%)
IWASE COSFA USA INC.	2 (1%)	1 (50%)	1 (50%)	3 (1%)	2 (67%)	1 (33%)	3 (1%)	2 (67%)	1 (33%)
IWASE COSFA (THAILAND) CO., LTD	9 (4%)	4 (44.4%)	5 (55.6%)	11 (4%)	4 (36%)	7 (64%)	10 (3%)	4 (40%)	6 (60%)
DAINIHON KASEI CO., LTD	-	-	-	-	-	-	11 (4%)	7 (64%)	4 (36%)

*国内:1月1日時点、海外:各年前年12月31日時点

**派遣労働者を含む

テーブル5.2 ジェンダー平等: 岩瀬コスファの管理職数*

指標	2019年度			2020年度			2021年度		
	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性
リーダー総数	47 (100%)	41 (87%)	6 (13%)	49 (100%)	41 (87%)	8 (13%)	58 (100%)	48 (84%)	10 (16%)
IWASE COSFA CORPORATION (JAPAN)**	36 (77%)	31 (86%)	5 (14%)	35 (71%)	30 (86%)	5 (14%)	37 (64%)	31 (84%)	6 (16%)
COSFA INTERNATIONAL TRADING (SHANGHAI) CO., LTD	1 (2%)	1 (100%)	0 (0%)	1 (2%)	1 (100%)	0 (0%)	1 (2%)	1 (100%)	0 (0%)
COSFA INTERNATIONAL TRADING (GUANGZHOU) CO., LTD	1 (2%)	1 (100%)	0 (0%)	1 (2%)	1 (100%)	0 (0%)	1 (2%)	1 (100%)	0 (0%)
IWASE COSFA EUROPE S.A.S.	2 (4%)	2 (100%)	0 (0%)	4 (8%)	2 (50%)	2 (50%)	6 (10%)	3 (50%)	3 (50%)
IWASE COSFA VIETNAM CO., LTD	1 (2%)	1 (100%)	0 (0%)	1 (2%)	1 (100%)	0 (0%)	1 (2%)	1 (100%)	0 (0%)
IWASE COSFA KOREA CO., LTD	1 (2%)	1 (100%)	0 (0%)	1 (2%)	1 (100%)	0 (0%)	1 (2%)	1 (100%)	0 (0%)
IWASE COSFA USA INC.	1 (2%)	1 (100%)	0 (0%)	2 (4%)	2 (100%)	0 (0%)	2 (3%)	2 (100%)	0 (0%)
IWASE COSFA (THAILAND) CO., LTD	4 (9%)	3 (75%)	1 (25%)	4 (8%)	3 (75%)	1 (25%)	4 (7%)	3 (75%)	1 (25%)
DAINIHON KASEI CO., LTD	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	5 (9%)	5 (100%)	0 (0%)

*国内:1月1日時点、海外:各年前年12月31日時点

目的

岩瀬コスファは、公平な採用、ジェンダーフリーな登用を推進します。

目標

- 2021年にくるみんマークの取得を目指します。
- 2022年にえるぼしマークの取得を目指します。



SDGsとの関わり



課題3: 環境

環境方針

岩瀬コスファは、地球環境問題を人類共通の最重要課題の1つとして認識し、「地球環境保全に配慮した持続可能な目標」を設定するとともに、その実現に向け努力します。

原料調達及び販売の観点から、地球の恵みである資源の持続的な利用や環境負荷軽減を推進することで、グローバルにおける企業市民としての責務を全うし、社会に貢献します。

岩瀬コスファは、事業活動のあらゆる場面において、環境関連の諸法令遵守と当社のコミットメントを実現します。又、事業活動が環境に与える影響を認識し、環境への配慮と汚染防止に向けて継続的に努力します。

これらのコミットメントを実現するために、次の目標*を2030年までに達成するように努めます。

• 地球温暖化

2020年10月26日、菅首相が所信表明演説の中で「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする」と宣言したことから、日本でカーボンニュートラルに対する注目が高まっています。岩瀬コスファはカーボンニュートラルに貢献できるように協力いたします。

- CO2排出量の70%減少を目指します(スコープ1・2)。
- 当社が調達する電力のうち、50%を再生可能エネルギーで調達します。

• 廃棄物管理

環境に配慮し資源の有効活用や廃棄物の削減に取り組めます。

- 2030年に向けて、廃棄物排出量を売上数量の1%以下に保ちます。

• 水使用量削減

水使用量、排水量を継続的に管理し、環境負荷低減と循環使用による水使用量の削減に努めています。限りある水資源を持続的に使用するため、今後もさらなる水資源の保護に努めます。

- 単年目標として総量削減目標1%/年を目指します。

*ベースイヤー: 2019年

この環境方針は、岩瀬コスファのCSR推進室長が毎年見直し、CSRレポートを通して、ステークホルダーのみなさまに公開します。上記目標は、岩瀬コスファ株式会社及び子会社7社を対象としています。



SDGsとの関わり



環境活動データ

テーブル6. 環境データ

対象: 岩瀬コスファグループ*

指標	種類	2018年度	2019年度	2020年度
石油類使用量(L)	ガソリン	28,564	32,695	22,543
	ディーゼル	521.89	217.67	24.8
ガス使用量 (m3)	都市ガス	95	85.76	108
	LPG	81	52.7	85.9
電力消費量 (Kwh)		431,529	577,815	597,949
水使用量 (m3)	市水	859	1,200	1,133.9
	地下水	1,007	1,401	1,400
産業廃棄物排出量 (t)		44.79	38.99	22.97
特定有害産業廃棄物排出量(t)		0	0	0

*各子会社のデータは添付の付属資料をご参照ください。

テーブル7. CO2排出量

指標	2019年度		2020年度	
	GHG排出量	(tCO2e)	GHG排出量	(tCO2e)
Scope 1	64.58	tCO2e	52.19	tCO2e
ガソリン	64.12	tCO2e	51.48	tCO2e
ガス	0.46	tCO2e	0.71	tCO2e
Scope 2	384.94	tCO2e	357.14	tCO2e
電力	384.94	tCO2e	357.14	tCO2e
Scope 3	33,454,863.32	tCO2e	-	tCO2e
資本財	17.51	tCO2e	37.42	tCO2e
雇用者の通勤	192.58	tCO2e	231.27	tCO2e
出張	350.2	tCO2e	39.793	tCO2e
購入した製品	33,394,843.2	tCO2e	53,632,825.6	tCO2e
Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動	20.33	tCO2e	409.19	tCO2e
輸送、配送(上流)	828.01	tCO2e	1308.8	tCO2e
輸送、配送(下流)	828.01	tCO2e	1308.8	tCO2e
事業から出る廃棄物	17,514.12	tCO2e	9324.47	tCO2e
販売した製品の加工	745.15	tCO2e	-	tCO2e
販売した製品の使用	49,776.65	tCO2e	-	tCO2e

認証・プロジェクト

岩瀬コスファは、2003年にISO 14001の認証を取得しました。対象は国内3拠点（東京本社、大阪本社、九州営業所および唐津ロジスティクス）です（売上ベースでは79%の取得を表す）。



2020年、岩瀬コスファはCDPに2度目の参加をしました。CDPは毎年、世界の数千社の企業を対象に、気候変動問題への戦略的アプローチを分析し、包括的な基準に基づいて気候管理活動を評価しています。岩瀬コスファは、アジア地域の平均(D)、同業他社の平均(C)、グローバルの平均(C)を上回るB評価を獲得しました。

B評価は「マネジメント」レベルに属しており、気候問題に対して協調的に行動していることを示しています。

岩瀬コスファは、環境に配慮した企業であり続けることを目指し、事業が環境に与える影響を管理するための継続的な改善を行っています。当社グループは、エネルギーおよびCO2に関する報告をさらに発展させ、CO2排出量に関する報告の透明性と比較可能性を求めるステークホルダーの声に応えていきます。

環境保護活動

岩瀬コスファは、CO₂やその他の温室効果ガスの排出に起因する地球温暖化の問題を最も重要な課題として認識しています。気候変動の諸問題に対応するためにさまざまな対策を講じています。環境に対し直接的または間接的に環境負荷やリスクを低減出来る原料資材の販売目標を設定いたしました。

テーブル8. 岩瀬コスファのエコ商品の売上実績

エコ商品	年度	目標(kg)	実績(kg)	予算比	
原料またはその資材自身が 環境に対し直接的または間 接的に環境負荷やリスクを 低減出来るもの	植物由来	2019	556,600	464,682	83.49%
		2020	1,306,100	837,398	64.11%
	使用時に加熱工程を含まない	2019	2,000	136	6.80%
		2020	-	-	-
	生産工程の短縮化が可能	2019	21,300	13,335	62.61%
		2020	4,000	760	19.00%
環境リスクの低減と防止が 可能であると思われるもの	環境に対して負荷のより少な いもの	2019	300	0	0.00%
		2020	10,750	6,444	59.94%
合 計	2019	580,200	478,153	82.41%	
	2020	1 320,850	844,602	63.94%	

目的

岩瀬コスファは、地球温暖化防止に基づく環境保全活動を推進します。

目標

- 2021年に1,412,190 kgのエコ商品の販売を実現します。

植物由来資材	: 1,403,900 kg
使用時に加熱工程を含まない資材	: 800 kg
生産工程の短縮化が可能な資材	: 3,200 kg
環境に対して負荷のより少ない資材	: 4,290 kg



SDGsとの関わり



課題4: 持続可能なサプライチェーン

持続可能な調達方針

岩瀬コスファは、より良い社会の実現、環境の保護、地域社会の発展を目指して、持続可能な調達活動を推進します。これらのコミットメントを実現するために、次の目標を達成するように努めます*。



*ベースイヤー: 2019年



・ サプライヤーのCSR認識向上

岩瀬コスファは、当社のサプライヤーのCSR認識を高めて、CSRに取り組んでいる企業とビジネスを行うことを実現します。そのため、当社のサプライヤー行動規範に対するサプライヤーの意識向上に努めます。サプライヤーが地域の環境法や社会法に違反し、結果的にサプライチェーンを混乱させる可能性を低減するように力を入れていきます。

- 2025年までに岩瀬コスファの主要なサプライヤー**から行動規範の署名を得ます。
- 2025年までに岩瀬コスファの主要なサプライヤー**のCSRの認識度の評価（マッピング）を行い、研修やアドバイスを通して、サプライヤーのCSR認識向上に努めます。

・ 持続可能な原料調達

岩瀬コスファは、持続可能な原料の調達に努めます。パーム油生産地における環境保全と、農園で働く人々の人権配慮を目的とした取り組みの一環として、2017年に国際的な非営利団体である「持続可能なパーム油に関する円卓会議(RSPO)」に加盟しました。

- 岩瀬コスファは、2030年までにパーム油・パーム核油由来原料を100%RSPO認証原料にすることを目指します。

・ 購買活動に関わる従業員のCSR認識向上

岩瀬コスファは、購買管理規程を施行し、規程に従った正しい取引を推進します。ビジネスパートナーとの公正かつ健全な関係の確立と法令、内規の遵守について購買活動に関わる従業員に教育訓練の機会を提供します。

- 岩瀬コスファは、購買活動にかかわる従業員に、公正な取引に関する研修を毎年実施するように努めます。

**主要なサプライヤーの定義： 仕入額50%以上を占める仕入先

この持続可能な調達方針は、岩瀬コスファのCSR推進室長がモニタリングした上で毎年見直し、CSRレポートを通して、ステークホルダーのみなさまに公開します。上記目標は、岩瀬コスファ株式会社及び子会社7社を対象としています。



SDGsとの関わり



サプライヤー倫理要綱

岩瀬コスファは2019年に取引先のみなさまに向けて倫理要綱を策定いたしました。

岩瀬コスファグループ倫理要綱の概要

1. CSRの推進・社会貢献・組織統治
2. 法令順守・公正取引・企業倫理
3. 人権尊重・労働・安全衛生
4. 環境保全
5. 品質・安全性の保証
6. 秘密及び情報セキュリティ対策・知的財産保護
7. 情報開示・コミュニケーション・地域社会

<http://www.cosfa.co.jp/company/pdf/SupplierCodeofEthics-jp.pdf>



持続可能な調達に関する取り組み



RSPO (Roundtable on Sustainable Palm Oil・持続可能なパーム油のための円卓会議)

RSPOは企業が認証された持続可能なパーム油(RSPO)を生産するために遵守しなければならない一連の環境および社会的基準を開発した非営利団体です。RSPOが考える持続可能なパーム油生産には、関連する法制度に違反していないだけでなく、経済的に持続可能であること、環境的に適切かつ社会的に有益であることが求められます。



パーム油の生産は、熱帯雨林の破壊、生態系の破壊、泥炭地火災による温室効果ガスの排出、農園労働者の人権侵害といった問題を抱えています。RSPO基準は、適切に適用されると、パーム油生産地域の環境とコミュニティに対するパーム油栽培の悪影響を最小限に抑えるのに役立ちます。

CSR関連の認証

岩瀬コスファは、持続可能な製品とその関連認証を取得・維持することにより、サプライチェーンをより持続可能なものにすることに努めます。

- REACH 認証（環境に影響を与える可能性のある化学物質の年間使用量が1トンを超える場合）
- Ecocert/Cosmos認証
- RSPO認証

岩瀬コスファは紛争地域での非人道的行為、反政府組織の資金源となり得る取引に加担しません。
規制に係る紛争鉱物を調達しないため、該当するすべての取引先と、取引原料に関するコンフリクトフリーの証明書を交わしています。

- 紛争鉱物レター
(対象社数 4社/4社) *100%



調達データ・コミットメント

テーブル 9. 調達データ及び指標

対象: 岩瀬コスファグループ

指標	2021年実績
主要な仕入先からのサプライヤー倫理要綱の署名*	30/30社
主要な仕入先からのサプライヤー調査の回答*	22/26社**

*主要なサプライヤーの定義：仕入額50%以上を占める仕入先
**拠点別含む総回答数 51件



SDGsとの関わり



付属書

CSR運用管理表

CSR運用管理一覧表 2019/04/01～2020/03/31

CSR課題	取組む課題（CSR目標）	実施項目	責任者	SDGsとの関連
企業統治	1 関連規程の整備	1 関連規程の運用確認、改定	経営企画	 
		2 経理規程の作成	総務部	 
	2 CSRレポートの公表	1 CSRレポートの作成	CSR推進室	
人権	1 女性活躍の為の環境整備 障がい者の雇用	1 女性活躍推進法（えるぼし取得） 障がい者法定雇用率達成	経営層 （総務部）	  
労働慣行	1 働き方改革への取り組み	1 ノー残業デーの取り組み（1/週 + 2/月）2019年度も継続。	総務部	 
		2 東西従業員代表と役員との懇談会	CSR推進室	
		3 働き方改革法案への積極対応 （例：勤務間インターバル制度導入検討）	総務部	 
環境	1 省エネ、カーボンニュートラル	1 RSPO（パーム油の持続可能な使用）・CDP（カーボンディスクロージャープロジェクト）への加盟維持 エネルギー、水等の消費目標及び温暖化ガスの排出目標を定める	CSR推進室 ISO推進室	     
公正な事業活動	1 コンプライアンス（汚職の防止、独占禁止法の順守、反競争的行為の禁止、著作権、特許権の尊重、など）のルールを倫理規定に定め、関係者に教育する。	1 CSR調達への取り組み 仕入先への働きかけ	薬粧部	    
		2 従業員への教育（テキスト配布・講義）	CSR推進室	  
地域社会への参画	1 地域社会の経済的・社会的発展を改善する。教育機関への寄付	1 CSR私募債への取組み（一定利息分を地域学校に寄付）	総務部	  

CSR運用管理一覧表 2020/04/01～2020/12/31

CSR課題	取組む課題 (CSR目標)		実施項目	責任者	SDG sとの関連
企業統治	1	コンプライアンス教育	1 従業員教育の継続的な実施	コンプライアンス推進室	 
			2 トップマネジメント向け研修の実施	コンプライアンス推進室	 
人権	1	女性活躍の為の環境整備	1 女性活躍推進法(えるぽし取得)障がい者法定雇用率達成	経営層(総務部)	  
	2	労働者の基本的人権尊重	1 ハラスメント防止規程の制定	経営層(危機管理PJ)	  
労働慣行	1	働き方改革への取り組み	1 働き方改革法案への積極対応(例: 勤務間インターバル制度導入検討)	総務部	 
			2 オフィスカジュアルの実施(男性=全社展開、女性=ドレスコードの定着)	総務部	 
	2	労働安全衛生	1 危機管理PJの推進、関連マニュアル・規程及び制度の制定	経営層(危機管理PJ・総務部)	  
環境	1	省エネ、カーボンニュートラル	1 RSPO(パーム油の持続可能な使用)・CDP(カーボンディスクロージャープロジェクト)への加盟維持 エネルギー、水等の消費目標及び温暖化ガスの排出目標を定める	CSR推進室 ISO推進室	   
公正な事業活動	1	購買先に対する社会的責任の推進	1 CSR調達への取り組み 仕入先に対し継続して"サプライヤー 倫理要綱"への賛同・署名を求める	薬粧部	    
地域社会への参画	1	地域社会の発展目標に貢献し、可能な適切な範囲で地域団体に参加する。	1 社員のボランティア活動への支援制度導入 唐津3×3バスケットボールチームへの協賛	総務部	 

テーブル10. 環境データ

指標	種類	子会社名	2018年 度	2019年 度	2020年 度
石油類使用量 (L)	ガソリン	IWASE COSFA CORPORATION (JAPAN)	11034	9730.11	6519.46
		COSFA INTERNATIONAL TRADING (SHANGHAI) CO., LTD	5000	4814	3219
		COSFA INTERNATIONAL TRADING (GUANGZHOU) CO., LTD	5000	5000	4275
		IWASE COSFA EUROPE S.A.S.	455.43	2614.54	256.77
		IWASE COSFA VIETNAM CO., LTD	3346	3420	4476
		IWASE COSFA KOREA CO., LTD	3092	5214	2445.88
		IWASE COSFA USA INC.	636.63	1902.81	1350.75
	ディーゼル	IWASE COSFA (THAILAND) CO., LTD		N/A	N/A
		IWASE COSFA CORPORATION (JAPAN)	0	0	0
		COSFA INTERNATIONAL TRADING (SHANGHAI) CO., LTD	0	0	0
		COSFA INTERNATIONAL TRADING (GUANGZHOU) CO., LTD	0	0	0
		IWASE COSFA EUROPE S.A.S.	521.89	217.67	24.8
		IWASE COSFA VIETNAM CO., LTD	0	0	0
		IWASE COSFA KOREA CO., LTD	0	0	0
		IWASE COSFA USA INC.	0	0	0
		IWASE COSFA (THAILAND) CO., LTD		N/A	N/A
		IWASE COSFA CORPORATION (JAPAN)	95	85.76	108
		COSFA INTERNATIONAL TRADING (SHANGHAI) CO., LTD	0	0	0
		COSFA INTERNATIONAL TRADING (GUANGZHOU) CO., LTD	N/A	N/A	N/A
		IWASE COSFA EUROPE S.A.S.	0	0	0
ガス使用量 (m3)	都市ガス	IWASE COSFA VIETNAM CO., LTD	0	0	0
		IWASE COSFA KOREA CO., LTD	0	0	0
		IWASE COSFA USA INC.	N/A	N/A	N/A
		IWASE COSFA (THAILAND) CO., LTD		N/A	N/A
		IWASE COSFA CORPORATION (JAPAN)	81	52.7	85.9
		COSFA INTERNATIONAL TRADING (SHANGHAI) CO., LTD	0	0	0
		COSFA INTERNATIONAL TRADING (GUANGZHOU) CO., LTD	N/A	N/A	N/A
	LPG	IWASE COSFA EUROPE S.A.S.	0	0	0
		IWASE COSFA VIETNAM CO., LTD	0	0	0
		IWASE COSFA KOREA CO., LTD	0	0	0
		IWASE COSFA USA INC.	N/A	N/A	N/A
		IWASE COSFA (THAILAND) CO., LTD		N/A	N/A
		IWASE COSFA CORPORATION (JAPAN)	392705	475228.5	495400
		COSFA INTERNATIONAL TRADING (SHANGHAI) CO., LTD	N/A	N/A	N/A
電力消費量 (Kwh)		COSFA INTERNATIONAL TRADING (GUANGZHOU) CO., LTD	10993	13800	4275
		IWASE COSFA EUROPE S.A.S.	1679.18	1971.34	8932.08
		IWASE COSFA VIETNAM CO., LTD	23063	28111	32789
		IWASE COSFA KOREA CO., LTD	3089	3904	7358
		IWASE COSFA USA INC.	N/A	N/A	N/A
		IWASE COSFA (THAILAND) CO., LTD		54800	53470
		IWASE COSFA CORPORATION (JAPAN)	767	1129	1069
水使用量 (m3)	市水	COSFA INTERNATIONAL TRADING (SHANGHAI) CO., LTD	N/A	N/A	N/A
		COSFA INTERNATIONAL TRADING (GUANGZHOU) CO., LTD	N/A	N/A	N/A
		IWASE COSFA EUROPE S.A.S.	N/A	N/A	8.28
		IWASE COSFA VIETNAM CO., LTD	N/A	N/A	N/A
		IWASE COSFA KOREA CO., LTD	92	71	64.9
		IWASE COSFA USA INC.	N/A	N/A	N/A
		IWASE COSFA (THAILAND) CO., LTD		N/A	N/A
	地下水	IWASE COSFA CORPORATION (JAPAN)	767	1129	1055
		COSFA INTERNATIONAL TRADING (SHANGHAI) CO., LTD	N/A	N/A	N/A
		COSFA INTERNATIONAL TRADING (GUANGZHOU) CO., LTD	N/A	N/A	N/A
		IWASE COSFA EUROPE S.A.S.	N/A	N/A	N/A
		IWASE COSFA VIETNAM CO., LTD	240	272	345
		IWASE COSFA KOREA CO., LTD	N/A	N/A	N/A
		IWASE COSFA USA INC.	N/A	N/A	N/A
産業廃棄物排出量 (t)		IWASE COSFA (THAILAND) CO., LTD		N/A	N/A
		IWASE COSFA CORPORATION (JAPAN)	25.12	38.99	22.97
		COSFA INTERNATIONAL TRADING (SHANGHAI) CO., LTD	0	0	0
		COSFA INTERNATIONAL TRADING (GUANGZHOU) CO., LTD	0	0	0
		IWASE COSFA EUROPE S.A.S.	0	0	0
		IWASE COSFA VIETNAM CO., LTD	0	0	0
		IWASE COSFA KOREA CO., LTD	0	0	0
		IWASE COSFA USA INC.	0	0	0
		IWASE COSFA (THAILAND) CO., LTD	0	0	0



Contact Us

CSR推進室
cosfa-csr@cosfa.co.jp